

小学校第六学年 国語 「インタビューをしよう」

○ 正答例

一

3

二
(1)

アは相手の話を受けずに話題を急に切りかえているが、イは話を受け止めて質問し、話題が広がっているから。(五十文字)

(2)

すてきな趣味なのに、残念ですね。
話は変わりますが、校長先生は私たちと同じ中央小学校を卒業されたそうですね。

○ この問題で身につけてほしい力

○ 相手の意図に気をつけながら、適切に話す力

○ 考え方

一 問題の項目1から5に書かれていることは、インタビューをする際にとっても大切な内容です。

5 4 3 2 1
ていねいな言葉づかいで話すこと
事前の取材をもとに話すこと
自分の考えをはっきり話すこと
インタビューの内容をまとめながら話すこと
相手の話を受け止めながら話すこと

このインタビューは、新しく着任された校長先生を、昼の放送を通して全校に紹介することが目的です。
佐藤さんは、1、2、4、5に気をながら、校長先生の人柄を引き出すように工夫して話しています。

ただし、3については、ひかえてインタビューを進めています。佐藤さんが自分の考えをはっきりと話することより、校長先生のお話を少しでも多く届ける方が、目的に合っているからです。

二 (1) インタビューは、基本的に「相手から何かの情報を引き出す」活動です。

(2)

つまり、インタビューでは、相手の話を受けて話題を広げることが大切になります。このような姿勢でのぞむことで、内容が豊かになるからです。
このインタビューでは、佐藤さんはアの部分で話を受けずに話題を切りかえてしまいました。それに対してイでは、相手の話題を受けて、上手に話をふくらませています。

時間などの問題で、話題を切りかえなくてはならない場合があります。そういうときには、相手に断りを入れてから話題を変え、インタビューを進めます。
このような場合は、正答例のように話せばよいでしょう。

○ 相手の話を受け止める
すてきな趣味なのに、残念ですね。

○ 断りを入れる
話は変わりますが、校長先生は私たちと同じ中央小学校を卒業されたそうですね。



このインタビューの中では、校長先生がカヤックのパドルを持ってきた下さっています。

なぜ持ってきた下さったのか、分かりますか。

これは、もう一つの大切な仕事を、佐藤さんたち放送委員が事前に行っていたからなのです。

インタビューを申しこみ、相手と打ち合わせをする。

インタビューを申しこむとき、目的や質問したい内容等を相手に知らせ、相談するのです。

このような取り組みをすることで、相手もインタビューする側も安心して本番をおこなうことができます。結果的に、より内容の深いインタビューにつながることが多くなります。